

# 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

## 事業所自己評価 事-①～⑨

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 9 月 6 日 (PM 1 : 30 ~ 2 : 30 )
------------------	-----	---------------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	増淵、岩崎、飯島、田口、吉田、生澤
--------------------	------	-------------------

### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	1			8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	5			8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	2			8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6			8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用開始前にケアマネジャーとリーダーで訪問し、利用者及びその家族の状況やニーズを確認の上、サービス計画の原案を作成し、サービス提供を検討している。利用開始の初期段階では、毎朝ミーティングを行うことにより情報共有し、スタッフ全員が統一した支援を行っている。月例の会議において、現状把握や実際に利用初期に起こる課題を整理し、支援方法の再検討と変更がタイムリーに行えるようにしている。関係性を築くことが難しい利用者には訪問サービスから導入し、家族や及び利用者の話を傾聴しながら初期段階に起こる不安を解消しつつ安心して利用できなじみの関係が気づけるよう努力している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>家族との関係づくりの中で、ご家族に利用時の情報は伝えているが、家族の思いや不安を十分に引き出すことができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>家族に利用者の利用時の情報を伝え、より身近な事として関心をもってもらえるよう積極的に働きかけていく。家族が施設へ気軽に訪問して頂く機会をつくり、いつでもお誘いできる信頼関係を構築する。</p>	

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 増渕、岩崎、飯島、田口、吉田、生澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	4	1		8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	4	1		8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	4	1		8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	5	1		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者が「今の生活を続けたい」「自宅での暮らしを続けたい」という思いを、継続できるよう近隣とも調整し、傾聴・観察しながら支援につなげるように関わっており、本人の生活上のニーズを理解・把握しプランを作成している。それによって個別にサービスを提供している。</p> <p>安全・安心した生活づくりに努め、日々の暮らしの中で出た外出・外出の希望をかなえ本人の満足度を満たすようにしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>プランの「在宅生活の継続」という目標は、明確であるが当面の「～したい」ことは、もう一歩明確になっておらず利用者本人から十分に引き出せていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>利用者との会話の機会は十分あるので、個別の関わりの中で「～したい」事を具体的に引き出し、職員全員で共有し「できることから」達成できるように支援して行く。</p> <p>家族の力をお借りするためにも常日頃から、コミュニケーションを十分に取って行く。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年9月6日 (PM 1:30~2:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 増渕、岩崎、飯島、田口、吉田、生澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		6	2		8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	4			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	2		8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	1			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	7			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人の意思を尊重し、手を出し過ぎず自立支援に努め、本人の気持ちや体調等に変化があれば、職員間で随時、報告・連絡・相談を行い情報は共有して支援につながるようにしている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用者・本人の「以前の暮らし方」の情報収集と職員間の共有化が十分でなく、声にならない声の言語化ができていない。家族が同居していない方は、家族も把握できていない事も多く情報が、得られないため、十分に対応ができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>本人が本人らしい暮らしをしていた時期の「以前の暮らし方」を継続的に支援するために、利用者との会話や行動、家族・知人・友人・近隣の方々等から情報収集し、フェースシートに細かく落とし込み、共有できるように文章化して行く。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 11 日 (PM 1 : 30 ~ 2 : 30 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 増淵、久保、飯島、田中、田口、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	2		8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		8			8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	4		8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	4		8

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職員はある程度生活スタイルやこれまでの地域との関わり方及び人間関係は把握できている。これまでの生き方を尊重し、また地域の人の声を聞き、関わりを配慮しその人らしいライフスタイルが保てるよう支援している。  
利用者によって差はあるが、地域の方や家族ともノート及びメモ等を使いながら情報交換も行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

独居生活の方や家族のいない時間の自宅での過ごし方は、訪問し自宅内を見たり本人の分かる範囲で聞いて見たりするがしっかり把握するまでには至らない。  
すべての利用者の民生委員や近隣関係について把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

近隣の方や知人、地域資源を知り、民生委員が誰なのか民生委員との情報共有を図り、協働しつつ支援して行く。利用者一人一人がどのような方々と関係があるか相関図を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年9月11日 (PM 1:30 ~2:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 増淵、久保、飯島、田中、田口、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		8			8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		8			8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	2			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	5			8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
本人の体調の変化等に合わせて訪問を行い、配食サービスやごみ回収（ふれあい収集）などの地域資源を利用している。ボランティアや施設とも協力し、活動の機会を増やしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
本人のニーズを捉え、必要な支援のため出来るだけ対応するように努力しているが、急な泊まりにすぐ対応するのは難しい場合がある。  
必要度に応じた情報が提供不足であり、地域資源は使いきれていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
利用者が在住されている地域において、個々に応じた地域資源を把握し、必要時に対応できる情報を十分に活用して行くために、地域との連携を強める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年9月11日 (PM 1:30 ~2:30)

6. 連携・協働

メンバー 増渕、久保、飯島、田中、田口、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		4	3	1	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		5	2	1	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1	5	2	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		4	1	3	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

自治会、地域包括支援センターとの会議にはできる限り参加し、医療機関への情報提供や訪問看護等の他事業所と会議を開催するなど情報提供している。  
あすかのカフェへの参加・地区の文化祭への参加やボランティア来園時の見学及び中学生の職場体験を受け入れ交流を図っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者は地域活動に関して、地区の文化祭以外に地域活動には参加できていないが、施設内での行事には本人の意思を尊重しながら参加している。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

地域活動の情報を収集し、まず職員から進んで出かけ、顔の見える関係作りを構築して行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年9月21日 (PM 1:30~2:30)

7. 運営

メンバー 増淵、田中、飯島、田口、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		6	2		8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	1		8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	2		8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	5	1	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

地域の方から苦情があれば、すぐに職員間で話し合いケアマネジャーに報告し、ケアの内容を変更実践している。利用者や家族、近隣住民からの意見について良い点、悪い点を早い段階で共有し、注意すべき事、改善する事があればすぐ対応している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

家族の意見は、送迎時にしか話さない事が多く十分に聞く機会が少ない。  
地域への働きかけは法人全体としては行っているが、小規模多機能としては特徴的には行えていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者が住んでいる近隣の方とのコミュニケーションや関係づくりを築くためにも、あすかのカフェに参加してもらえるよう声掛けやポスター掲示など広報する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 21 日 (PM 1 : 30 ~ 2 : 30 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 増淵、田中、飯島、田口、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	5	2		8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	3		8
③	地域連絡会に参加していますか		5	2	1	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	1		8

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職場内研修は多くありできるだけ参加し、これを機会に資格取得している職員もいる。  
リスクマネジメントは早めの情報共有と対策 (対応) に心掛け、質の向上へ取り組んでいる。  
地域連絡会は、ケアマネジャーが中心に参加しているが、時々ワーカーも参加している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

小規模多機能に関して、外部研修及び地域連絡会の参加は、情報が少なく職員参加の研修・講習会等が限られてくる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

内部研修においては、小規模多機能の職員も参加できるよう曜日・時間帯および回数を調整する。  
また、内部研修資料を元に小規模多機能内で自己研修を行い、小規模多機能独自の事例検討会も実施し、質の向上を図る。外部研修は、一年間の計画予定表を作成し、積極的に参加して行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年9月21日 (PM 1:30~2:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 増淵、田中、飯島、田口、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8				8
②	虐待は行われていない	7	1			8
③	プライバシーが守られている	7	1			8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	4		6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	1	1		8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

身体的拘束や虐待に対する認識や理解は職員間で共有し、個人情報の管理・プライバシーの保護についても厳守に心掛けている。  
財産や生命を脅かされないよう訪問販売や悪徳商法への注意を喚起するなどの在宅支援をしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

成年後見制度を活用している方がいないが、今後必要になってくると思われる。  
清潔保持のための入浴・掃除等支援しているが認知症によって理解が得られず拒否に繋がっている為、必要なケアが行えない事もあり、支援方法に工夫が必要である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

身体拘束や虐待へと繋がらないよう認知症の理解とケア方法について、研修を行い対処方法について事例検討も含め常に検討していく。成年後見制度については、今後必要になるであろうことを予測して、内・外部研修を充実させて行く。